

# 病害虫情報 要周知

## トビイロウンカの初誘殺を確認しました

奈病防号外  
令和3年5月21日

関係機関長 殿  
病害虫防除員 殿  
調査員・情報員 殿  
農業資材販売等関係者 殿

奈良県病害虫防除所長

病害虫情報の送付について

このことについて、以下の通り発表しました。

周知を徹底するとともに、適正・安全な防除についてご指導をお願いします。

### 令和3年度病害虫情報第2号

作物名：水稲 病害虫名：トビイロウンカ 対象地域：主に中山間地域  
予報内容 発生時期：早い 発生量：多い

#### 1. 飛来状況

- 5月17日～18日の夜、桜井市池之内の予察灯においてトビイロウンカの初誘殺を確認。
- 昨年よりも約1ヶ月早く、今後、多飛来になる恐れ。

#### 2. 今後の予測

- すでに田植えを終えている中山間地域では、8月に坪枯れが発生する可能性があります。また、今後7月上旬まで断続的に飛来が続く場合、平坦地域でも坪枯れが発生する恐れがあります。
- 発育シミュレーションを実施したところ、水田でのトビイロウンカの若齢幼虫期は、第1世代が6月中旬、第2世代が7月中旬と予測されています。このことから、防除適期は6月中旬と7月中旬の2回が想定されます。ただし、防除適期は、今後のトビイロウンカ飛来数と気温の推移によって変動する可能性があります。
- 緊急に防除をしなければならない規模のトビイロウンカの多飛来が確認された場合には注意報を發表します。また、病害虫防除所のホームページには、随時情報を掲載しておりますので、ご参照ください。

### 3. 多飛来が確定した場合の防除方法

- (1) 田植え時にトリフルメゾピリムを含む箱粒剤を処理していない場合は、7月中旬の防除の前に、6月中旬の第1世代若齢幼虫防除を行って下さい。
- (2) 田植え時にトリフルメゾピリムを含む箱粒剤（フルスロットル、ゼクサロンなど）を処理した場合も、7月中旬の第2世代幼虫に対する防除を行って下さい。
- (3) トビイロウンカは株元に寄生し、出穂後は薬剤が届きにくくなります。また、坪枯れの発生が始まってからの防除では手遅れですので、出穂前の7月防除を実施してください。
- (4) 使用する薬剤は下記表（トビイロウンカの主な防除薬剤）をご参照ください。

### 4. 農薬安全使用上の注意事項

- (1) 農薬使用時、ラベルに記載された登録の有無、収穫前使用日数や使用回数を確認するとともに、止水期間を遵守して下さい。
- (2) 水面施用粒剤やなげこみ剤を使用する場合は、湛水してから処理し、散布後7日間は落水、かけ流しをしないで下さい。
- (3) ほ場周辺への薬剤飛散防止に努めて下さい。風の強い日は散布を控え、散布する場合であっても風向きに注意し、収穫期に近い他作物へ飛散しないようにして下さい。

表 トビイロウンカの主な防除薬剤

薬剤名	IRACコード	希釈倍率または使用量	収穫前使用期間	使用回数
MR.ジョーカーEW	3A	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
		16倍(無人ヘリ0.8L/10a)		
トレボンEW	3A	1000倍	収穫14日前まで	3回以内
なげこみトレボン		10個(500mL)/10a	5葉期以降収穫21日前まで	
スタークル/アルバリン粒剤	4A	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
スタークル豆つぶ		250~500g/10a	収穫7日前まで	
エクシードフロアブル	4C	2000倍	収穫7日前まで	3回以内
		16倍(無人ヘリ0.8L/10a)		
エミリアフロアブル	—	1000倍	収穫7日前まで	2回以内
		8倍(無人ヘリ0.8L/10a)		

※令和3年5月13日現在の登録状況です。

お問い合わせは

奈良県病害虫防除所 TEL. 0744-47-4481

その他関連情報は以下をご覧ください

病害虫防除所ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/nara/>

奈良県農業情報システム（農作物病害虫・雑草防除指導指針）

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/nara>

pdf 冊子「奈良県における令和2年のトビイロウンカ多発について」を病害虫防除所ホームページに掲載しています。